

Global Research
July 10, 2023

米國を第三次世界大戦に引きずり込もうとするバイデンと好戦家たち

Joe Biden and His Warmongering Minions
Seem Absolutely Determined to Drag America Into World War III

<https://www.globalresearch.ca/joe-biden-his-warmongering-minions-seem-absolutely-determined-drag-america-into-world-war-iii/5825170>

By Michael Snyder

リード

もし私たちの頭上に核兵器が降り始めたら、誰もそのとき、「警告されていなかった」とは言えないだろう。

ジョー・バイデンと好戦主義者の手先たちのおかげで、われわれは第三次世界大戦に向けて突き落とされようとしている。しかし、ほとんどのアメリカ人は、そんなことは気にも留めていないようだ。私たちのほとんどは、ただ陽気にパーティーをして人生を楽しんでいるばかりだ。

バイデン政権は絶えず中国を挑発し、ウクライナでの戦争をエスカレートさせている。彼らは文字通り火遊びをしているのだが、遊びにのめり込めば、火傷を負うのは彼らだけではない。

以下本文

今週、バイデン政権が8億ドルの新たな軍事支援策が発表され、その一環として、ウクライナにクラスター弾を供与することが決定された。

クラスター弾が何なのかご存じない方のために、NBC ニュースからかなり詳しい説明を...

二重目的改良型通常弾 (DPICM) は地対地弾頭である。地上に落ちると爆発して、複数の小型弾を広範囲にばら撒く。

その弾丸は、装甲車両を貫通する強力な炸薬にもなるし、地雷となって粉々に砕けたり破片になったりして、人間にとってより重大な危害を加えることもある。

不発弾が戦闘後長い時間がたってから爆発し、罪のない市民を負傷させたり殺害したりする可能性もある。赤十字国際委員会によれば、10%から40%の不発弾があるという。

そのため多くの人権団体は、その使用に反対している。

クラスター爆弾の使用禁止を求める活動団体『クラスター爆弾連合』によれば、ラオスやベトナムでは、使用から 50 年経った今も、潜在的な殺傷力を持つクラスター弾が眠っているという。

多くの国が、このような理由でクラスター爆弾の使用を禁止している。クラスター爆弾禁止条約に、120 カ国以上が参加し、この兵器を使用、製造、譲渡、備蓄しないこと、そして使用後は撤去することに同意した。なお米国、ロシア、ウクライナは未加盟国である。

ジェイク・サリバン国家安全保障顧問という人物

しかし、ホワイトハウスのジェイク・サリバン国家安全保障顧問はこう述べた。

この軍需品はウクライナがロシアの侵略者に対する軍事作戦を維持するために不可欠である。この紛争において、ウクライナを無防備な状態にしておくつもりはない

なぜみんながジェイク・サリバンについてもっと語らないのか？

バイデンはサリヴァンの言うことなら何でも聞く。サリヴァンが再び中国を挑発することを提案すると、バイデンはそれに従う。

「Zero Hedge」誌は、アメリカが台湾に機動散布型地雷システムの提供を開始すると報じている。

台湾は、機動散布型地雷システムを配備するため、1 億 4600 万ドル相当の米国との契約を決定した。それは、2022 年 12 月に米国防安全保障協力局によって予告されていた。

さらに国務省は 4 億 4000 万ドル以上の弾薬・装備取引を承認した。そこには、M977A4 トラック、M87A1 対戦車地雷、M88 および M89 訓練用弾薬も含まれている

言うまでもなく、これもまた中国を大いに怒らせる動きだ。

対中経済制裁の強化は何をもたらすか

そして米国の対中貿易戦争はまた新たな段階に突入した。この間、とくに半導体の将来をめぐる中国と米国の貿易戦争がエスカレートしている。

米国による新たな規制を受け、北京は月曜日、切り札を切って反撃に出た。2 つの絶対的に重要な原材料の輸出規制を実施したのである。そして世界の半導体産業に不可欠なガリウムとゲルマニウムという 2 つの戦略的原材料の輸出規制を課した。

「ジェフリーズ」誌のアナリストは語った。

これは、中国が技術戦争に対抗するための、第二の、そしてより大規模な措置である。それはまた、アメリカがAIチップの輸出禁止を強化した場合の対応策であろう。5月にアメリカ最大のメモリーチップメーカーの一つであるマイクロテクノロジー（MU）を制裁したのはその手始めだ
ジョー・バイデンがホワイトハウスに入って以来、中国との関係はゴミ箱に投げ込まれた。バイデンのホワイトハウスでの任期が終わる前に、中国が実際に台湾への侵攻を選択する可能性もある。
もしそうなれば、世界経済にとって壊滅的な大惨事となるだろう...

台湾の大手マイクロチップ・メーカーのトップ呉は言う。
台湾は中国から100マイルほど離れたところにある民主主義国家で、世界で最も先進的なマイクロチップを製造している地域だ。中国との軍事衝突が起これば、重要な半導体のサプライチェーンは壊滅し、世界経済は何十年も後退することになるだろう
もちろんそのような戦争をやっている余裕はない。なぜなら、我々はそのチップを入手しなければならないからだ。台湾が生産するチップがなければ、私たちは大変なことになる.....。

ボストン・コンサルティング・グループの2021年の報告書にはこう書かれている。
台湾はマイクロチップ製造の母体であり、世界の半導体の60%、そして最先端の半導体の約93%を生産している。
米国、韓国、中国も半導体を生産しているが、事実上台湾が市場を独占しており、その市場規模は昨年6000億ドル近くに達した
では、なぜ米国内でもっとチップの製造を始めないのか？
アリゾナ州に400億ドルの工場が建設される予定だが、完成にはまだ何年もかかる。米国は世界の半導体チップの約1割を生産しているが、最先端チップの生産は皆無に等しい。
米国も国内生産を強化しようとしている。台湾のチップ大手TSMCがアリゾナ州に400億ドルの工場を建設中である。このプロジェクトには税制優遇措置を提供している。
呉はいう。
しかしこのような複雑な産業の構築には時間がかかる。10年はかかるでしょう。もし指導者たちが賢明であれば、米中間の平和を維持する方法を見つけようとするはずだ

中口枢軸の強化

しかしバイデン政権はそうはせずに、ロシアや中国との敵対関係を強め続けている。

中国はこれに対抗するかのようロシア軍との関係緊密化を望んでいる。それはワグナーの反乱の頓挫後も、北京がモスクワを支持し続けていることでも明らかだ。中国の李国防相は、ロシア海軍のエフメノフ司令官との会談後にこう述べた。

双方の共同の努力により、両軍の関係は深まり、強固なものとなり、絶えず新たな進歩を遂げ、新たなレベルに達するだろう

もしロシア・中国と同時に戦うことになれば、それは悪夢である。

言うまでもなく、そのような紛争は必然的に核戦争に発展し、本格的な核戦争は何十億もの人々を殺す可能性がある…。

だから私たちは平和のために祈ろう。

残念ながら、我々の指導者たちは平和にまったく関心がないようだ。

ジョー・バイデンと好戦家の手下たちは非常に危険なゲームをしており、人類の運命は天秤にかけられている。

Michael Snyder has published thousands of articles on The Economic Collapse Blog.